



豊田市小原町の紙漉き職人加納師匠ご夫妻 による

「JCD 工芸師レジデントプログラムS のご案内と交流アイデア募集

加納登茂美・恒ご夫妻：2017年11月-.\* の日本ギャラリー開設の際にお越し頂きました。

**主催**：ミシガン大学美術学科P STAMPS) と JBSD

**協賛**：ミシガン大学美術館 (UMMA) とミシガン大学日本研究センターP CJ4)

**期間**：2019年)月20日(金)～11月2日(土)

UJ ! このプログラムの目的

日本の伝統工芸文化を米国デトロイト地区に教育的側面から紹介し、現地の若い芸術家らとの交流を通してその工芸文化の理解を促していきます。また師匠らの日本工芸の技の伝承や芸術としてのグローバル化を促進していくものです。



VJ ! ミシガン大学美術学科での講義

ミシガン大学美術学科のポスコビッチ教授の 2019 年度に発足する”300”学科「紙作りと版画 (Paper Making and Water Printing)」という授業に、専門家研究員として加納師匠ご夫妻を招聘しました。この 300 学科という講座は、週二回の講義でミシガン大学美術学科の学生向けのみに限られます。

WJ ! JCD として加納師匠らとの文化活動の展開

加納師匠様らは真剣に小原の紙産業の行く末や、日本での和紙事情を考えておられ、自然環境などに知識も深くお持ちです。

そこで JCD としては JBSD の会員企業や日本コミュニティにも師匠の活動の